

ABOUT GREEN PEOPLE'S POWER

グリーンピープルズパワーを応援してください

市民の中から生まれたGPP

グリーンピープルズパワー株式会社は、2017年2月3日、市民電力連絡会という小規模な発電事業団体のネットワークから生まれました。コンセプトは「再生可能エネルギー」「地産地消」そして「市民の力」。市民がつくる再生可能エネルギーの電気を、市民の力で、地域の市民に届けることを目指しています。

当初は取次店としてのスタートでした。他の電力会社の代わりに営業活動を行い、既存の電気業界の仕組みを学び、ノウハウを蓄積しました。2019年には小売電気事業者のライセンスを取得し、正式に電気の小売ができるようになりました。小売業者として代理店を持つことも可能になり、大幅な営業力アップが期待できます。

また、2020年1月からは、関連会社であるイージーパワー（株）が所有する太陽光発電所の一部の電気供給がはじまりました。千葉県匝瑳市に位置し、ソーラーシェアリングという方法で発電しています。地面（農地）で無農薬の有機農業が行われ、上空では太陽光で発電する「食とエネルギー」が一体となった発電所です。

再生可能エネルギー100%への道

自社で調達した電気をお届けすることで、ようやく再生可能エネルギー100%への道筋が見えてきました。同時に、いくつかの課題も明らかになり、克服のために奔走しています。

太陽光発電の発電量は日中にピークを迎えますが、家庭の電力消費のピークは朝と夕方。家庭向けの契約だけでは需要と供給のバランスがとれません。そこで太陽光発電の電気を生かすため、日中に電気を使う商店や、高圧電力を使用する事業所への営業活動

をはじめました。

太陽光パネルなど発電設備を持つユーザーから、電気の買入もはじまりました。まずは、2009年にFIT制度を利用して発電を開始し、10年の買取期間を終えた「卒FIT」のみなさまを対象としています。

次に、「非FIT」の発電所からの買取にもチャレンジしています。ひとつ目はイージーパワー（株）が運用するマンション自家消費モデルの発電所で、7月から運転開始を予定しています。ふたつ目の49.5kWを発電する山梨県の野立て太陽光発電所は、買取手続きを終え、建設を待つばかりです。

他にもいろいろな市民発電所をお持ちの方々が、GPPに電気を売りたい！と考えてくださっています。

GPP応援団に入りませんか

イベント等で直接お話を伺っていると、電力自由化後、誰でも電力会社を選べるにもかかわらず、大手電力との契約を続けている方が多いことに驚きます。脱原発や地球温暖化防止のために活動している方が、原発や石炭の電気を使っていることもあります。問題意識がありながらも、手続きがよくわからない、どこの会社を選べばいいかわからない……と躊躇っている。そんな方々にこそ、ぜひGPPの電気を利用していただきたい。

最近では、Webサイトから毎日申込みが舞い込むようになりました。いろいろな地域で「電気の相談会」を行うと、その場でユーザーになってくださる方もいます。「電気の購入先を変えることが社会を変えることになる」という、GPPのメッセージが少しずつ浸透してきていると感じます。

ユーザーのみなさまには、資金でGPPを支える「応援団」を形成していただきたいと思っています。気候変動による気象の異変や、急激な政策の変更、大手電力による取り戻し営業など、いろんなことがあるでしょう。それにびくともしないGPPであるために、みなさまの力が必要なのです。

イージーパワー株式会社

グリーンピープルズパワー株式会社の兄弟会社。市民の出資で発電所を設置し、再生可能エネルギーの発電を行う。小規模なソーラーシェアリングと野立てによる太陽光発電設備を分散して設置することで、周辺環境や生活との共存を目指す。

GPP 代表取締役 竹村英明

脱原発と再生可能エネルギー普及のために30年以上活躍中。市民の出資で発電所を設置し、再生可能エネルギーの発電を行うイージーパワー株式会社代表取締役であり、NPO 法人市民電力連絡会理事長。脱原発政治連盟代表。夢は「電気を市民の手に取りもどす」こと。

